

# 津田小学校の ESD 活動

## <活動の概要>

- ・ ESD を特色のある教育活動の柱と捉え、地域との連携や地域素材を活用した体験活動を通して、「いのちを大切にし、心ゆたかに生きる津田っ子の育成」を目標としている。主な活動として、①いのちに関わる学習、②校区の「ひと・もの・こと」にふれる活動 ③動植物の飼育・栽培に関わる活動を行っている。
- ・年間を通して、四季の移り変わりを感じながら、他学年や地域保育園、津田っ子サポーターなどの地域の人と関わり、「ふるさと津田」を大切に思う心を育みながら、地域とともに地域から学ぶ持続可能な開発のための教育実践を重ねている。

## ・活動の実際

### ① いのちに関わる学習

#### ○防災教育(全校)

豊川と豊川放水路に挟まれた津田校区は、ハザードマップ上の洪水浸水想定地域に指定されており、本校は津波避難ビルとなっている。瓜郷遺跡への水平避難の他、今年度は津田保育園との合同垂直避難を行った。11月には、教職員の他、自治会や消防団員、女性防火など地域が一丸となって防災訓練を行い、親子でAEDや起震車体験など各ブースを回り、命を守る行動について学んだ。本校は、防災・減災意識の高い子どもが多く、令和5年度に防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞した。



#### ○福祉教育(5年)

地域の高齢者と三世代交流を行った。ともにペタンクを体験する中で、年を重ねると肩や腰の痛みや抱えていることを知った。その後、校区にある特別養護老人ホーム「喜寿苑清須」を訪問し、所長から腰をかがんで視線を合わせたり、声をかけるときにはゆっくり丁寧に話したりするなどの、高齢者との接しかたを教してもらった。利用者との交流を通して、福祉に興味関心を持ち、思いやりの心を育てる機会となった。



#### ○豊橋・学校いのちの日(全校)

6月に、全校でいのちをテーマにした授業を公開し、親子でいのちや人権の尊さなどを考える機会とした。授業参観の日は、「親子読書」を毎年行っている。低学年(1~3年生)の子ども達は、保護者と一緒に体育館にて、津田っ子サポーターによる紙芝居や絵本の読み聞かせを楽しんだ。



### ② 校区の「ひと・もの・こと」にふれる活動

#### ○守り続ける技を学ぶ(3年)

通学路に高くそびえる煙突は、昔ながらの製法で味噌を作る小田商店のものである。3年生は、大きな味噌樽を見学し、工場の代表者や職人から歴史や味噌の作りかたなどを学んだ。



#### ○竹とんぼで遊ぼう(1年)

豊川は昔、山から材木を流して川で貯木をしていた。そのため、材木関係の会社が今も名残を残している。地域サポーターの建具職人が、1年生全員に竹とんぼを作ってくれた。子ども達は、運動場で思いっきり竹とんぼを飛ばし、より高く飛ばす方法を教わった。



### ③ 動植物の飼育・栽培に関わる活動

#### ○縦割りやきいも会(全校)

地域のかたのご厚意により、縦割り活動のための畑を貸していただいた。名前を募集したところ、多く子から応募があり「津田っ子畑」に決定した。さつまいものつるさしや芋ほりを通して、異学年交流を行った。収穫時、子ども達は、さつまいもの大きさに驚き、喜びを分かち合った。やきいも会で秋の味覚を堪能し、収穫の喜びを味わう体験ができた。

